

妙安寺だより 409

明治元年（1868年）以降、明治新政府によってられた政策です。

明治新政府は、天皇制国家を勧めていく為に、伊勢神宮を中心とした国家神道政策を推進し、中央集権国家を目指します。

それまでは寺院の中に神社が、また神社の近くにお寺があり、多くのお坊さんが神官を兼ねていました。また、各寺院には守護神が祭られていました。

この政策により、寺院と神社は完全に分離され、葬儀を行なっていなかった寺院は全て（壊される）され、多くの仏像・経典などが壊され燃やされました。地域によっては、全ての寺院が破却された所もあります。

政府の意図（緩やかな分離）に反するほどの反響でしたので、その政策はすぐに取りやめとなり、現在では共存しています。

昔からのお祭りの起源をたどると、仏教寺院が起源のお祭り（博多祇園山笠等）が多数残っています。それを調べてみるのも面白いかもしれません。

9月の行事予定

9月26日(水) 午前11時 秋季彼岸施餓鬼法要
正午 お齋(昼食)

時間が変更になっていますので、ご注意ください。

***17時半に閉門します。閉門後は番犬を放していますので、ご注意ください**

閉門後も駐車場に駐車される場合は、一言お声かけください。不審車両と間違えます。

***平成31年「地涌の声」の功德主を募集します。**

***ゴミの分別にご協力下さい。掃除道具は元の場所へ。**

***護持会規約が改正されます。よくよくご確認ください。**

***平成31年より護持会会費が9千円になります。墓所をお持ちの方は、墓地管理費とあわせて、年間1万2千円となりますので、ご理解ください。**